

事業名 : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
会議名称	群馬県太田市視察 太陽光部会
開催日時	平成 24 年 2 月 13 (月) 13:00~16:00
実施場所	テクノプラザおおた 5F 研修室 PalTown 城西の杜 太田市エコハウス おおたメガソーラー建設地
参加者	原 (おひさま進歩) 中村 (サンジュニア) 片瀬 (ソーシャルエネルギー) 鈴木 (カラマツストーブ事業組合) 藤川 (上田エネルギーシフト) 小池 (新興マタイ) 宮下 (信州ネット事務局次長) 武居 (事務局)
記録者	武居 辰三(事務局コーディネーター)

実施内容

1. おおたまるごと太陽光発電事業

説明：太田市役所 工業政策課 石橋氏 長谷川氏

(1) 目的：

太田市内での、屋根に太陽光発電システムを設置できる住宅・集合住宅は 2 万 5,000 戸程度。
将来的に、これら全てに太陽光発電を普及させることを目指している。

(※現時点での導入戸数は 2,500 戸以上)

(2) 事業主体：一般財団法人「地域産学官連携ものづくり研究機構」（市や商工会議所が出資）

(3) 仕組み：

・一般住宅：

上記機構が設備を大量購入することで、約 3.6kW の設備を 133 万円程度で導入できるようにする。

メーカー名：ソーラーフロンティア株式会社

(通常のコストは 200 万円程度)

不足分については、返済期間 10 年の融資を斡旋する。

・集合住宅：

機構が 10 年間の設備リースを実施。

この期間の後は、設備を無償譲渡する。

(4) 適用条件：

・一般住宅：屋根の仕様により、3.0kw から 4.0kw の間で現地調査を踏まえてシステムを決定する。

・集合住宅：屋根の仕様により、7.0kw から 10.0kw の間で現地調査をよりシステムを決定する。

(5) 開始時期：2011 年 8 月 5 日から 2012 年 8 月 24 日まで（集合住宅は 9 月から）

(6) 2011 年度の導入目標：

・一般住宅：1,000 戸

・集合住宅：250 戸

の、計 1250 戸の設置を目指す。現時点（2012 年 2 月 13 日での導入は一般住宅 150 戸あまり。集合住宅は 28 戸あまり。現在設置中）

また、太田市長の

- ・「太陽光発電は、節電意識の向上にもつながる。持続可能なエネルギーを最大限活用できるよう努めたい」
 - ・「最終的には市内 2 万 5 千戸に太陽光パネルを設置したい」
- とのコメントが紹介されています。

太田市の導入補助制度は 2010 年度で終了しているとのことですが、今回の構想が本当に実施されるのであれば、通常の補助制度よりも、経済的な負担を遥かに軽減できることになるので、今後の動向に強く注目したいところです

また、横浜市でも太田市まるごと太陽光発電を参考にしたシステムが実施されています。

2) 太陽光発電のまち PalTown 城西の杜

所在地：太田市城西町
 施工者：太田市土地開発公社
 事業面積：40.9ha
 事業期間：平成 11 年から平成 20 年度
 分譲数 776 戸 販売数 772 戸 販売率 99%
 平成 23 年現在、太陽光発電が設置されている
 住宅は 553 戸。

太陽光発電システムの実証研究について

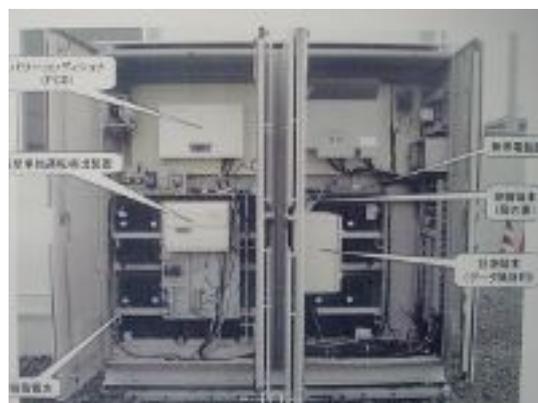
研究目的：太陽光発電システムの普及拡大に資することを目的として、太陽光発電システムが特定の配電系統に集中された場合の、システム性能や配電系統への影響を明らかにするとともに汎用的な対策技術を開発する。

研究期間：平成 14 年 12 月から平成 20 年 3 月末

事業規模：予算総額 約 9.7 億円

研究団体：独立行政法人新エネルギー
 産業技術総合開発機構
 (NEDO 技術開発機構)

内容：右図にある屋外収納倉庫等を 1 棟ごと取付けデータを収集。



3) 太田市エコハウス

環境省が推進する「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」

太田市エコハウスオリジナル

- ・建設地の地形を利用した半地下内には、素焼きレンガが約 3 t 積まれていて、蓄熱と調湿の効果が期待できます。

4) おおたメガソーラー事業

- ・7月から始まる全量買い取り制度の設定を 売電単価：35円/kwh 売電期間：15年で設定していました。

記録写真



[メガソーラー事業：まださら地整備の状態でした]



[スーパーエコハウスにて]